

令和6年度広島中央地域うつ・自殺対策医療連携研修会

「自殺を防ごう」

～うつ病患者への対応、早期診療、医療連携のポイント～

うつ病は、自殺の要因として最も関係が深いのが、近年、全国各地で発生する自然災害、あるいは円高が影響した生活困窮等、社会情勢が与える様々な変化が影響し、自殺リスクは多様化しており、うつ・自殺対策は重要な課題となっている。

うつ・自殺対策において、医療の立場から提言を得て、支援者が不安を感じた際の話の聞き方や繋げ方、また、早期発見・早期介入ができるよう、かかりつけ医と精神科医との連携方法について学び、連携の推進と強化に取り組むことを目的として、研修会を開催する。



- 日時** 令和7年1月30日(木) 18:00～19:30
- 講師** 医療法人社団更生会 ころろホスピタル草津
精神科医 佐伯 真由美 氏
- 場所** オンライン (ZOOM)
オンデマンド配信
- 対象者** 医師、薬剤師、看護職等の医療関係者、職域、行政、保健、福祉、
教育機関職員等
- 主催** 広島中央地域保健対策協議会
- 共催** (一社)竹原地区医師会、(一社)東広島地区医師会、(一社)賀茂東部医師会
(一社)豊田郡医師会、(一社)東広島薬剤師会

大切な命守ろう 地域の輪



自殺対策の「標語」と「シンボルマーク」(広島県)

裏面に申込み方法があります

◆申し込み方法

二次元コードまたは下記URLより申し込んでください



https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=21913